

特集

# 冬の災害に 備えよう!

昨年のお正月、能登半島地震が発生しました。  
この地震では、寒さで低体温症になり、亡くなるケースが相次ぐなど、厳冬期における避難についてさまざまな課題が浮き彫りとなりました。  
石狩市の冬は能登半島よりもさらに低温となるため、真冬に地震災害が発生した場合、被害が拡大する恐れがあります。  
備えあれば憂いなし! 今こそ真冬の災害に遭遇しても対処できるよう準備しておきましょう。

☎ 危機管理課 ☎ 72・3190

- 2 特集 冬の災害に備えよう!
- 5 非課税世帯などへの物価高騰重点支援給付金
- 6 令和7年 石狩市はたちのつどい
- 8 暮らしの知っ得情報
- 9 若者しごと図鑑
- 10 石狩市民図書館／イシカリのDX
- 11 いしかりっ子ひろば
- 12 ヘルシーライフ／救急当番病院
- 14 市役所からのお知らせ
- 17 所得税・住民税の申告
- 18 ごみをへらそう!
- 19 イベントカレンダー
- 20 募集
- 22 まちの話題
- 24 エッセイ「制定の軌跡」



冬の災害時に家の中で  
安全に過ごすための備え

- ・停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオ、電氣を使わない暖房器具（ポータブルストーブ）などを準備しておきましょう。
- ・外出できない場合に備えて、食料や飲料水などを備蓄しておきましょう。
- ・FF式暖房機の給排気口付近の除雪状況を確認しておきましょう。

石狩市  
防災GIS  
(ハザードマップ)



石狩市  
地区防災ガイド  
(ハザードマップ)



石狩市  
地域防災計画  
・各種マニュアル



市内の  
通行止め情報

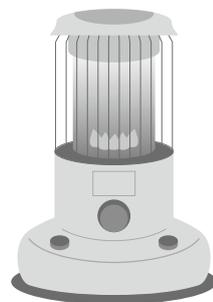


気象情報  
(気象庁)



## 避難所での 寒さ対策

市では、避難所の寒さ対策として、ポータブルストーブ、大型ヒーター、毛布などの備蓄品を整備しています。また、能登半島地震を受け、備蓄計画を見直し、エアベッドや使い捨てカイロを増やすなど、さらなる寒さ対策に取り組んでいます。



大規模災害となった場合は備蓄物資が不足することも考えられるほか、厳冬期に停電が発生すると、体育館などの避難所は十分に暖まらない可能性があります。

# 1

## 冬の地震災害に 備える

### 可能であれば 在宅避難の検討を

災害が起こり、在宅での生活が困難な場合は、迷わず避難所へ避難する必要があります。

一方、自宅やその周辺の安全が確認されている場合は、在宅避難を考えてみましょう。

在宅避難は避難所で生活を送る場合に比べ、プライバシーが確保でき、ストレスや感染症のリスク低減、家族やペットとの住み慣れた環境での生活など、さまざまなメリットがあります。

また、在宅避難者が増えると、避難所の混雑緩和にもつながります。



在宅避難を行うためには、あらかじめ各家庭で物資を備蓄しておく必要があります。

### 家庭で備える 冬の災害

自宅で避難生活を送るためには、最低3日分(できれば1週間分)の生活物資を備えておく必要があります。自分の家族、ペットにとって必要な物資を備蓄しましょう。

さらに、冬に発生する災害には、夏とは違う防災対策が必要になります。自宅には食料や飲料水に加え、帽子、手袋、厚手の靴下、ジャンパー、使い捨てカイロなどの防災対策用品を備蓄しておきましょう。

また、体を温めるため、温かい食事をとることが大切です。電気やガスが使えない場合に備え、カセットコンロをガスとあわせて用意しておきましょう。

もし避難所に避難する場合は、床が冷たいので上履きも必要です。冬用の寝袋も有効です。



冬は暴風雪や送電線への着雪などによる停電の危険も高まります。電源を必要としないポータブルストーブなどの暖房器具を燃料とあわせて用意しておきましょう。

